

① F値の明るい単焦点レンズ

中国とドイツの 協業ブランドの ハイスピードレンズ

HandeVision

IBELUX 40mm F0.85

レンズ構成	8群10枚 (EDレンズ3枚)
焦点距離	f=40mm (35mm判換算: 60mm相当)
最大口径比(開放絞り)	F0.85
最小絞り	F22
絞り羽根枚数	10枚 (円形絞り)
最短撮影距離	60mm
外形寸法	74×128mm (最大径×長さ)
質量	1200g
フィルターサイズ	67mm
価格	215,000円 (税込)

中国の上海伝視撮影とドイツのIB/Eオプティックスが共同で手掛けた大口径MFレンズ。鏡筒は金属製でブラックペイントが施され、フードは組み込み式。ピントリングは適度なトルク感があり、レンズそのものの質感はとても高い。重量級のレンズであるが、APS-Cサイズのセンサーとは思えない豊富なボケを味わえ、被写体が浮き上がるような効果を味わえる。開放の滲みも独特の味わいで楽しい。



開放での滲み、とろけるボケ

大口径のため滲みは出るが、それをX-T1で味わえるのは至極。絞り込めば優秀な写りとなっていく。玉ボケを入れた夜のスナップも雰囲気が出る。

開放での描写とボケ味

ピント面はソフトフォーカスがかかったような味わい。「表現」という点では逆に大きなアドバンテージとなる。ボケ量もF0.85ならではの大きさ。



レンズの王様として長年支持されているプラナーを、XシリーズのAPS-Cサイズのセンサーに最適化した標準レンズ。純正の標準レンズよりもわずかに広角の48mm相当という点にも着目したい。近年、Mマウントのプラナーなどもあるが、それらと違いAF化されており、露出機能も完全に互換されている。鏡筒デザインは近未来的。ゴム引きのピントリングなど、純正レンズとは異なる趣がマニア心をくすぐる。



開放での描写とボケ味

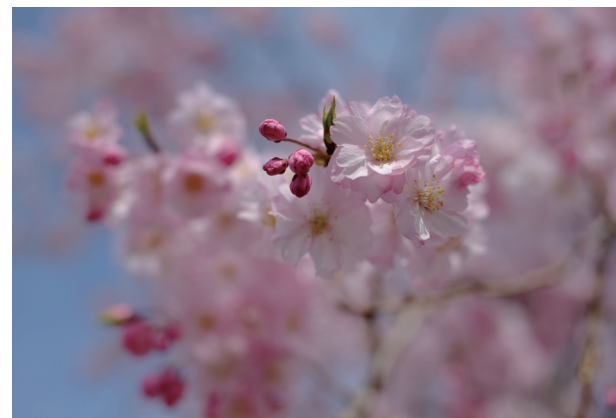
XF35mm F1.4と比較すると、すっきりとしつつも濃厚。背景の赤い花瓶の濃さ、白い壁の発色系などは明らかに異なる。

① F値の明るい単焦点レンズ

銘玉プラナーを APS-Cセンサーに 最適化

Carl Zeiss Touit 1.8/32

レンズ構成	5群8枚
焦点距離	f=32mm (35mm判換算: 48mm相当)
画角	48°
最大口径比(開放絞り)	F1.8
最小絞り	F22
絞り羽根枚数	9枚 (円形絞り)
最短撮影距離	0.3m
外形寸法	65×76mm (最大径×長さ)
質量	210g
フィルターサイズ	52mm
実勢価格	75,000円



立体感と濃厚な発色は プラナーの特長

プラナーの色乗りの良さは伝統。Xマウント版のプラナーも、きらびやかさと濃厚さがあり、純正レンズとは一線を画する描写だ。